

鹿児島黎明ライオンズクラブ

クリスマス家族例会

12月15日（日）午後6時からの例会のあと、恒例のクリスマス家族例会が賑やかに楽しく行われました。例会は去る12月10日に84歳で亡くなられたチャーターメンバーでもあったL.千原 弘へ黙祷で始まりました。第1副会長L.假屋の閉会ゴングで例会が終了、午後6時半から家族例会が始まりました。計画委員長のL.関の挨拶の後、全員立ち上がってメリークリスマスと大きな声と共にクラッカーを鳴らし、前会長L.富永の乾杯で家族例会が始まりました。アトラクションとしてプロのマジシャン小野田倫之氏を招いて、ステージでのマジック、そして各テーブルを廻ってのテーブルマジックを披露し、あちこちで大きな歓声が上がっていました。恒例の子ども達へのプレゼント、オークション、抽選会など、心から楽しめた家族例会でした。特に抽選会の1等賞の景品はシェラトンホテルのクリスマスディナー券2枚で、狩生L.が当たり大きな歓声が上がりました。楽しく賑やかな例会でした。準備された計画委員の皆様、関係された皆様へ感謝です。



多くの写真を頂きましたが誌面の都合でこれだけしか掲載出来ませんでした。ご了承下さい



チャーターメンバーL.千原弘は12月10日84歳で逝去されました。謹んでご冥福を祈ります

故L.千原 弘を偲んで

L.瀬戸山正一

1988年10月15日鹿児島黎明ライオンズクラブ結成、1991年ー92年第4期の時に、千原会長、尾込会計、そして私が幹事を務めさせて頂きました。そのご縁で結成時から38年にわたりご指導ご鞭撻を承った事にまずは御礼申し上げます。例会の運営、理事会の運営に於いても事細かに指示を頂き、会員の皆様にご迷惑が掛からないようにと細心の注意を払う事に細かくご指導を頂いたのが思い出に残っています。

またいち早く、ゾーンチェアパーソン、YCEをはじめ地区役員の使命も一生懸命にこなされた事を思い出します。YCEの時は86水害に遭遇してフィンランドから来日の学生さんを桜島経由で空港まで送られたこともありました。

日曜日の早朝清掃もお孫さんを同伴されて殆ど100%の出席率で参加され、奉仕作業に率先垂範して会員を導いて来られました。クラブの中においても、多種多芸の趣味を惜しみなく伝授され、都々逸あり川柳あり、事ある度に会員の皆様の笑いの中に誘っていただきました。個人的にもよく一緒に旅行もさせて頂きましたが、何時も楽しく愉快的な旅行でした。旅の思い出も沢山あります。また、同期の会長会をはじめ、今まで続いてこられたのも千原ライオンの深い思いやりがあったからだと思います。11月初めにお電話を頂いた時も「元氣になって帰ってくるから」と言われたのが最後のお言葉になりましたが、こんなに早くお別れが来るとは思いませんでした。

千原先輩、今まで本当に有り難うございました。どうか安らかに眠り下さい。ご冥福を心よりお祈り申し上げます。

千原ライオンとの思い出

L.假屋達郎

私が鹿児島黎明ライオンズクラブに入ったのは、平成4年39歳の時でした。国内では、高花田、宮沢りえ婚約、バルセロナ五輪で14歳の岩崎恭子が金メダル、国外では、米大統領選挙、クリントン氏当選という時代でした。この年は、黎明ライオンズクラブ設立5周年の年でした。会長L.広瀬、幹事L.永野良宏で、5周年を成功させようと、50名余のライオンが丸となって動いていました。ライオンズメンバーは全員先輩で、何も分からず言われるままに動いていたと思います。

それから6年、平成10年、鹿児島黎明ライオンズクラブ11期目、突然、L.益山から幹事をしてくれと、会社に訪問がありました。私は職業柄、人前で話す機会はなく、ライオンズ独特な言葉遣いも分からず断りつづけました。そこにL.千原 L.瀬戸山が声をかけて下さり、全面バックアップするからと、例会終わり後も高級クラブ「さぼてん」に、飲みに誘っていただき、ライオンズの色々なことを学びました。

幹事になって、L.千原をはじめとして、皆が支えて下さったことを思い出します。早朝清掃での千原L. の活躍は忘れられないです。ご冥福をお祈りいたします。



鹿児島市内10LC合同献血運動行われる

12月8日（日）中央駅前広場で市内10LC合同献血運動が行われ、黎明LCは午後4時から明倫LCと交代して参加しました。参加Lは、脇黒丸、有馬、富永、瀬戸山、瀬戸山Leo1名、関、下野、樋口、樋口Leo3名、精松、三州原学園から4名の応援も貰い、寒い中、通行する人々に献血への協力を呼びかけていました。当日の受付者数は61名、その内採血出来た人は200ml 2名、400ml 46名、計48名でした。



入会のご挨拶



ユウヤ
L. 林 祐矢

令和6年11月に入会させて頂きました。出身は福岡県ですが、鹿児島に来て17年になります。天文館で「クラブ ディックス」を昨年10月よりオープンし運営しております。幼少の頃からサーフィンを通して通っていた第二の故郷とも呼べる鹿児島で歴史のあるライオンズクラブに入会したいと考えていた所を、熊本平成LCの奥田篤朋さんより脇黒丸L.をご紹介頂きました。これからはライオンズの活動を通し、知性を高め、友愛と相互理解の精神を養い、平和と自由を守り、社会奉仕に精進出来るように諸先輩方に学ばせて頂き、活動していきたいと思っています。これからもどうぞよろしくお願い致します。

ライオン生活34年を振り返って



徳重 初男

ライオンズマンとしての活動が始まったのが平成元年の9月、安永設計の安永さんがスポンサーで、今は亡き、千原Lの勧めもあってこの活動が始まりました。34年間お世話になった鹿児島黎明LCを今回退会することになり複雑な気持ちで一杯です。第17代会長もさせて頂き、話し下手な私は「ありがとう」の詩を毎回朗読したことを昨日のこのように思い出します。奉仕という言葉を聞くと、いつも親父を思い出します。昭和56年だったと思いますが、お世話になった蒲生町に、南日本銀行に借入れを申し込み、借金して救急車を寄贈しました。今の私でも到底出来ない事です。親父が蒲生の為にした事は数え切れない程あります。親父が50歳から74歳になるまで白男地区の高齢者の方々に毎年毛布を送り続け、2人の有志と共に運動公園を作り、水道を引き、現在もグランドゴルフやどんどん焼きをする場所として、皆に活用されています。蒲生のクスの湯の周りに桜を植え、毎年手入れをしていたそうです。79歳から手がけた芝桜園は鹿児島県から表彰されるほど有名になりました。これも白男地区の高齢者に花見の会場を提供するために始めたのがきっかけと聴きました。私が「越すに越せない親父」と表現する由縁であります。奉仕に一生を捧げた親父こそ本当のライオンズマンだと思います。私は鹿児島黎明ライオンズクラブが大好きです。小さいながらも多くの奉仕をさせて頂きました。クラブの将来を思い、私なりに努力をしたつもりです。その半ばでの退会は残念ですが残った方々に今後の黎明LCを託します。どうか「黎明ここに有り」と誇れるクラブ作りに頑張って頂ければ有り難いです。最後のなりましたが、長い間本当にお世話になり、有り難うございました。ご活躍をご祈念申し上げます。



懐かしい写真より 早朝清掃



献血活動



芝桜

年頭のごあいさつ



会長 L.有馬 洋

皆様明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願い申し上げます。今年はい年です。ヘビは何回も脱皮するそうです。我々も脱皮して更にライオンズ活動に邁進してまいりたいと思います。今年もご協力の程よろしくお願い致します。私ごとではありますが、昨年は体調を崩して不整脈治療の為2回入院しました。カテーテル治療、又ペースメーカー手術等の最新の医療技術のお陰で、又心配なく通常の活動が出来るようになりました。治療して頂いた医師 又御心配をかけました全ての皆様に感謝申し上げます。今年はずは健康第一に体調万全で、日々の活動に全身全霊で取り組んでまいります。皆様と共に黎明ライオンズを盛り上げていきましょう。

第1副地区ガバナー L.脇黒丸一典



新年、あけましておめでとうございます。ライオンズクラブ活動に日頃よりご協力頂いている皆様、また共に奉仕活動に取り組んでいるクラブメンバーの皆様にご心より感謝申し上げます。新しい年を迎え、我々ライオンズの使命はますます重要になっています。盛会的な不況、日本は大震災による落ち込み、世界は益々多くの仮題を抱えて、私たちライオンズクラブが果たすべき役割は大きいと感じています。今年も一生、地域社会への支援活動を強化し、より多くの人々に希望を届けられるよう、励まし合いながら、ライオンズクラブの誇りを胸に、皆様と共に素晴らしい活動を重ね、ライオンズクラブの理念である「We Serve」の精神を共に実現して参りましょう。本年もどうぞ引き続き、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。最後になりますが、皆様のご健勝とご多幸を祈念し、宜しく願い致します。



第871回例会集合写真



久々に手を繋いで「また会う日まで」

◎災害ボランティア活動に関する協定書について

鹿児島市社会福祉協議会から市内11クラブに対して、鹿児島市内で大規模災害等が発生した場合に災害ボランティアセンター及び災害ボランティアの活動拠点を中心に行うボランティア活動に関して協定を締結したいとの要望があり、1月9日の第871回例会で諮ったところ締結に賛成することが承認されました。

《 編集後記 》

新年明けましておめでとうございます。3が日は天気にも恵まれ、御家族共々よいお正月を過ごされたことと喜び申し上げます。昨年12月、残念なことにチャーターメンバーLのL.千原 弘が亡くなられ吃驚しました。私は昭和61年に田上で耳鼻科をビル開業しましたが、その時のビルが千原建設が作られたビルでした。それ以降長いお付き合いとなりました。またライオンズクラブにも多大の貢献をされたことは周知のことで、本号は追悼のページを設け、3人のライオンから追号文を書いて頂きました。改めてご冥福を祈ります。掲載が遅れましたが林Lの入会のご挨拶と盛会だったクリスマス家族例会の様子が掲載しました。さて、今年はい年、諺には「蛇の道は蛇」とか「蛇ににらまれた蛙」とか良い印象の言葉はありませんが、蛇は脱皮を繰り返して成長してゆきます。黎明LCも昨年の古い殻を脱いで、若い血をいれて新しい装いで発展するよう皆で力を合わせましょう。

PR・情報委員長 L.伊東祐久